

e-モニターアンケート結果報告書

アンケート名称	未来の図書館に関するアンケート
担当部・課名	生涯学習部 中央図書館
アンケート結果の市政への反映状況	
<p>今回のアンケートでは、今後の図書館サービスの参考とさせて頂くために、図書館でロボットや人工知能などを使った未来型サービスの導入の是非、エリア分けの利用希望や、電子書籍についての調査を行いました。</p> <p>○図書館で本の場所が分からない時に、本棚まで案内してくれるロボットを利用したいかについては、ぜひ利用したい方とやや利用したい方がどちらも 37%となり、これを合計すると 74%と大部分の方が利用を望んでいることが分かりました。</p> <p>また図書館で簡易な問合せに、対話型人工知能サービスを使いたいかについては、ぜひ利用したい方が 31%、やや利用したい方が 38%となり、合計すると 69%の方が利用を望んでいますので、これも多くの方が希望されているといえます。</p> <p>○図書館で自由に飲食ができるエリアの利用については、ぜひ利用したい方が 32%、やや利用したい方が 33%となり、合計すると 65%の方が利用を望んでいます。また図書館で音楽が流れ、自由に会話ができるエリアの利用については、10%の方が利用を希望し、状況により利用したい方は 55%となりましたので、合計で 65%の方が利用したいと回答しています。その理由については、音楽が流れた方がリラックスできるからが最も多く 59%となり、次いで会話したいからが 51%となっています。</p> <p>○紙と電子書籍のどちらを利用したいかについては、紙の利用が 68%とほぼ7割近くを占めています。eモニを回答して頂ける利用者は、パソコンやスマホを使うことができます方となります。図書館に来館される方の中には、パソコンやスマホを利用できないご高齢者の方もいらっしゃるのですが、実際には多くの方が紙の書籍を希望されていることが伺えます。利用したい理由については、84%の方が紙の本の方が読みやすいことを理由としてあげており、次いで 43%の方が図書館の本棚の中から気に入った本を探したいことを理由としていますので、電子書籍にはない魅力を感じていることが分かります。</p> <p>反面、紙よりも電子書籍を希望される方も 32%いることから、電子書籍にも一定の需要があることが伺えます。電子書籍を利用したい理由について、最も高かったのが図書館に行かなくともよいことをあげている方が 78%を占めており、次いで、貸出や返却の手間がないことを理由としている方が 70%いることから、多くの方が非来館型サービスを重要とされていることが分かります。今回の結果を踏まえ、今後の図書館サービスの導入について検討させていただきます。</p>	